

第46回 全国育樹祭

いばらき 2023

誰かじゃない 僕が育てる 緑の日本

全国育樹祭は昭和52年から毎年秋季に行われている国民的な森林・緑の祭典で、「継続して森を育てることの大切さ」を伝えています。茨城県での開催は平成元年以来、34年ぶり2回目となります。

第46回全国育樹祭は、「未来につながる新しい林業の姿を全国に発信する」という開催方針のもと、秋篠宮皇嗣同妃両殿下にご臨席を賜り、潮来市の「茨城県水郷県民の森」で「お手入れ行事」が、水戸市の「アダストリアみとアリーナ」で「式典行事」が開催されました。

潮来市における全国緑化行事

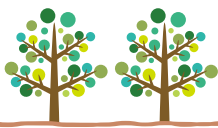
18年前 第56回全国植樹祭 → 今回 第46回全国育樹祭



お手植え・お手播きされる
天皇后両陛下(現上皇皇后両陛下)



お手入れ行事に臨まれる
秋篠宮皇嗣同妃両殿下



記念植樹

10月30日(月)に茨城県庭園樹協会鹿行支部より苗木の提供と看板作成、植樹のご協力をいただき、第46回全国育樹祭のお手入れ行事の会場となる「茨城県水郷県民の森」で、市内小中学校の児童生徒による記念植樹が行われました。緑の大切さを次世代に繋いでいくため、児童生徒の皆さんの手によって丁寧にソメイヨシノ4本とケヤキ6本の苗木が植られました。

児童生徒による記念植樹



お手入れ行事

11月11日(土)に潮来市の「茨城県水郷県民の森」で開催されたお手入れ行事では、平成17年に開催された第56回全国植樹祭で当時の天皇皇后両陛下がお手植えになられたタブノキとヤマボウシに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下がお手入れ(枝打ち・施肥)をされました。秋篠宮さまは、のこぎりでタブノキの枝打ちをされ、紀子さまはヤマボウシの木の根元に肥料を施されました。そして、お手入れを手伝ってくれた子どもたちに「学校は楽しいですか」などと声をかけられていました。

枝打ちのお手入れ



お声がけ



施肥のお手入れ



式典行事

11月12日(日)に水戸市の「アダストリアみとアリーナ」で、全国の林業関係者などおよそ2,000人が参加し、式典行事が開催されました。式典の中で、秋篠宮さまは「かけがえない豊かな森林を維持し、その豊富な資源を有効に活用するとともに、健全な姿で後世へと引き継いでいくことは、私たちに課せられた大切な務めでありましょう。このような活動が、今後も多くの人々に支えられ、一層発展していくことを期待いたします。(一部抜粋)」とおことばを述べられました。

秋篠宮さまのおことば

